

CAMAC社・新世代ハープ理論

LISEZ-MOI!



必読!



□人間工学に基づいたCAMAC社の新世代ハープは、伝統的にハーピストがかかえていた背骨の問題を根絶する手助けをし、心地良さに貢献し、疲労を取り除きますが、さらに最も重要なことは演奏を容易にします。

この新しい人間工学の体験をすると、ハーピストは正し（椅子）の高さで座るという非常に重要で、最高の恩恵が引き出されます。

一般的に認められてきたハープの着座姿勢は、奏者の目の高さが第2オクターブのディスクの高さにあるべきでした。

（イラストAの姿勢）



しかしながら、新世代ハープで大変重要な事は、奏者の目の高さは第2オクターブのディスクの位置でなく、しかしそれはチューニングピンと同じになります。

そしてそのようにすると、各ハーピスト個人の身長に相応しいベストの演奏位置を採用する事になり、その外観と姿勢は—しかも彼または彼女の究極の心地良さでもあります。

（イラストBの姿勢）